

2017年7月11日

東急不動産ホールディングス株式会社

## 社会的責任投資(SRI)の株式指標「FTSE4 Good Index Series」 構成銘柄に連続選定されました

東急不動産ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)は、このたび、社会的責任投資(SRI)の株式指標として世界的に認知度の高い「FTSE4 Good Index Series(フィッチャー・フォー・グッド・インデックス・シリーズ)」の構成銘柄に選定されました。

「FTSE4 Good Index Series」は、ロンドン証券取引所のグループ企業であるFTSE Russell社により開発された株式指標で、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の3つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性を評価し、総合的に優れた企業を選定するものです。



FTSE4Good

東急不動産株式会社として2010年から2013年まで連続選定され、2013年10月の東急不動産ホールディングス株式会社設立後は2014年から4年連続で選定されており、今回で通算8年連続の選定となりました。今回の選定にあたっては、ESGにかかわる経営課題への当社グループの取り組みが、将来にわたり持続的成長が期待できる企業としての評価をいただいた結果と捉えています。また、当社グループは、中長期経営計画「Value Frontier2020」の後半期(STAGE2)として今年度策定した「中期経営計画2017-2020」においても「ESGマネジメント」への注力を掲げており、今後も持続的成長と長期的企業価値向上に取り組んでまいります。

※SRI(Socially Responsible Investment)とは、個人や機関投資家が投資を行う際に、従来の財務分析による情報に加え、ESG(環境、社会、企業統治)評価を投資基準に加えて行う投資手法のこと。

東急不動産ホールディングスグループのCSRについて

<http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/csr/>

統合報告書について

<http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/library/integratedreport/>